

公安委員会定例会議の開催概要

開催日時 平成30年7月18日（水） 10時00分～11時45分

1 議題事項

なし

2 報告事項

(1) 平成30年上半期におけるストーカー・DV事案の取扱状況について

県警察から、「本年上半期のストーカー事案は、認知が98件で前年同期比プラス1件、検挙は9件でプラス3件であった。行為形態別・関係別では、交際相手による押し掛け等が全体の約4割を占めている。DV事案は、認知が236件で前年同期比プラス6件、検挙は34件でプラス1件、保護命令は10件でプラス4件であった。今後も被害者の安全確保に配慮して適切に対応していく。」旨の報告があった。

委員から、「今後も増加する可能性があるので、迅速適切な対応をお願いする。」旨の発言があった。

(2) 平成30年上半期の犯罪統計について

県警察から、「本年上半期の刑法犯認知件数は、2,038件で前年同期比マイナス213件で、検挙件数は減少したが、検挙人員、検挙率は増加、上昇した。刑法犯のうち重要犯罪は、認知件数、検挙件数、検挙人員、検挙率のいずれも減少、低下した。また、重要窃盗犯は認知件数が144件で前年同期比マイナス105件であり、検挙件数、検挙率は減少、低下したが、検挙人員は増加した。」旨の報告があった。

(3) 似顔絵作成講習会の開催について

県警察から、「7月25日、似顔絵の積極的な活用により面接犯罪等の捜査強化を目的に、県警察学校において似顔絵作成講習会を開催する。」旨の報告があった。

委員から、「訓練を積み重ねて技術の向上に努めていただきたい。」旨の発言があった。

(4) 平成30年上半期の交通事故発生状況と下半期の特徴について

県警察から、「本年上半期の交通事故発生件数は、前年同期比でマイナス188件、負傷者数はマイナス235人とそれぞれ減少したが、死者数はプラス1人であった。直近5年間の下半期の特徴として、死亡・重傷者数のうち高齢者が約半数を占めていることから、下半期は、高齢者に特化した運動を強力に推進する。」旨の報告があった。

委員から、「高齢者への交通安全指導を積極的に行っていただきたい。」旨の発言があった。